

防災かわら版

第5号

2018年7月吉日 発行

平成30年度

とかち防災マスターネットワーク総会開催

平成30年度の総会が7月7日、午後3時より会員24名が出席し、グリーンプラザで開催されました。

大塚代表は「防災意識を高めると共に会員のスキルアップを徹底し、各地域との連携を密に行きたい」と挨拶しました。

総会では、保前副代表を議長に選出し議事に入りました。総務部・事業部研修部から「平成29年度事業報告」及び「平成29年度収支決算報告」が諮られ「会計監査報告」の後、全員一致で承認されました。

次に各部の「平成30年度事業計画案」「平成30年度予算案」が原案通り承認されました。

続いて役員満了に伴い大塚代表を改選で再任しました。各役員は、下記の通りです。



質疑応答では

◇総会資料には会則を添付◇ホコテン事業イベントで今年は「豚汁」「クイズ」の他何をするのか（煙道設置等の体験実施を検討）

◇会員107名の活動について（案内状に対する返信数が少ない。これについての対応は、芽室の防災マスターを中心に立ち上げた「共助の会」を参考に各地域（特に音更・幕別）で組織体を作り連携を取る事が望ましい。

講演

「道東地域で発生する地震・津波」

釧路地方気象台地震津波防災官 佐鯉央教氏の講演がありました。「地震・津波の基礎知識」又「日頃の備え」では、今すぐできる事（非常持ち出し品や備蓄、避難場所の確認と避難した際の事前の話し合い、家具の固定、安全スペースの確保）

「避難の三原則」として

- ① 率先して避難せよ
 - ② 最善をつくせ
 - ③ 想定にとらわれるな
- 又 自助・共助の大切さを講演され会員一同の研修が終わりました



役員紹介

- | | |
|-------------|-------------|
| 代表 | 大塚 徹 |
| 副代表 | 保前 明美 |
| 副代表 | 谷口 榮子（新任） |
| 総務部長 | 林 裕美子 |
| 総務部次長 | 安岡 俊博（新任） |
| 研修部長 | 佐藤 春雄（新任） |
| 研修部次長 | 安田 愛子 |
| 事業部長 | 樋野 義雄 |
| 事業部次長 | 久我 佳子 |
| 会計監査兼アドバイザー | 丸山 貢 |
| アドバイザー | 水藤 恒彦 末盛 真一 |
| | 今野 祐子 林原 秀則 |
| | 目黒 均 沼田 秀実 |
| 顧問 | 青木 達彌 |



平成29年度 活動実績 (1月～3月)

| 月 | 日付 曜日 | 時間 | 活動内容 | 場所 | 防災マスター参加者 | 参加者数 |
|---|--------|-------------|-----------------|-----------|-----------|--------|
| 1 | 27 (土) | 13:30～18:00 | 平成29年度帯広市冬季防災訓練 | 帯広市立帯広小学校 | 5名参加 | 約100参加 |
| 1 | 30 (火) | 19:00～20:30 | 社会福祉法人慧誠会防災講話 | とかちプラザ | 1名参加 | 約80名参加 |
| 2 | 20 (火) | 14:15～15:05 | 豊頃町立豊頃中学校 | 豊頃町立豊頃中学校 | 2名参加 | 30名参加 |

女性の視点からみた防災対策

避難所生活での課題

「女性の視点での避難所運営」や「女性の視点での防災対策」が言われるようになったのは、阪神・淡路大震災で被災した女性の被災生活や避難所生活で課題が顕在化して以降です。
 阪神・淡路大震災及びそれ以降の被災地で顕在化した課題には次のようなものがあります。

- ① 避難所・避難生活で「女性ニーズ」に対応しきれない性的ハラスメント
- ② 女性向け支援物資の不備
- ③ 炊き出し、高齢者ケア等は女性のみに負担
- ④ 女性が多く従事するパート労働者の大量解雇など、生活復興の支援



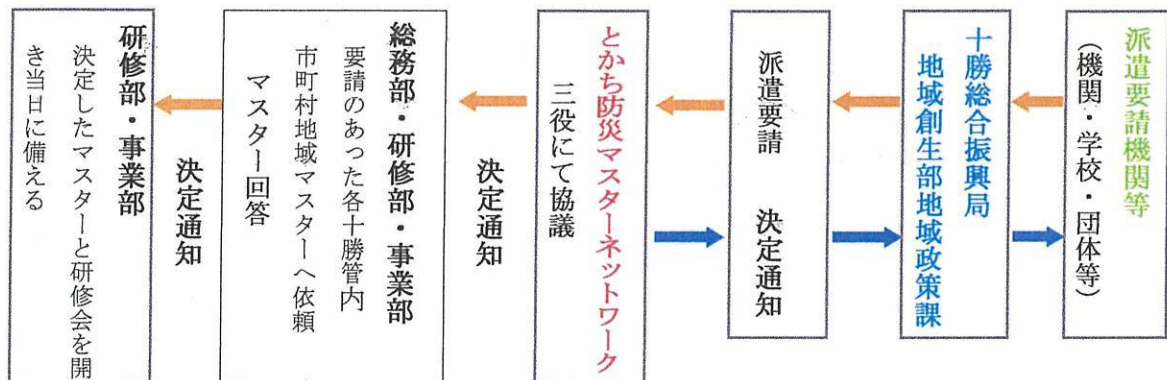
避難所における女性への配慮

- ・ 他人の視線が気にならない授乳室、更衣室、女性専用物干し場等の確保
- ・ 単身女性や女性のみの休息、就寝スペースの確保
- ・ 安全で行きやすい場所の男女別トイレ・入浴設備の設置
- ・ 女性用トイレ・女性専用スペースの女性用品の常備
- ・ 女性専用物資の供給
- ・ 避難者名簿の管理徹底
- ・ 女性に対する相談窓口の周知
- ・ 最低限の化粧品、鏡、ブラシの用意
- ・ 炊き出し、子守り、掃除等は男女共に力を合わせて
- ・ パートタイマーの人も職場に行けるように配慮する
- ・ DV対策の観点から、個人情報はさらに丁寧に
- ・ 就寝時、真っ暗になる場合は、女性用スペースをはっきり分ける。
- ・ 夜間トイレの照明確保
- ・ 避難所運営委員会の役員クラスに必ず女性を登用する



日本防災士会ハンドブックより抜粋

派遣要請に関わる構成



会員の皆様にお願ひ!

買い物をした金額のパーセントが「ネットワーク」の資金源になります。皆様方のご協力をお願い致します。

「とかち防災マスターネットワーク」登録店舗

イオン帯広店 帯広市西4条南20丁目

いちまるフードプライス店 帯広市東5条南3丁目

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。
 会員の皆様にかかれましては、益々ご健勝の事と思えます。お陰様で「かわら版」も第五号を発行する運びとなりました。皆様からのご意見、情報、写真、川柳、短歌等どしお寄せ下さい。

お待ちしております。

研修部

「鹿の子百合」

・ 荘厳

・ 慈悲深さ



お知らせ

今後の予定は下記の通りです。

会員皆様方のご協力をお願い致します。

◎ 8月19日(日)

社協フェス&ワイワイタウン

場所 グリーンプラザ

時間 午前10時～午後3時

防災用品の展示・工作・DVD

◎ 8月26日(日)

平成30年度帯広市地域防災訓練

場所 帯広市立明和小学校

帯広市西19条南4丁目24

時間 午前9時～午後1時迄

防災活動



◎ 9月9日(日)

ホコテン

場所 広小路

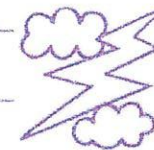
時間 午前9時～3時迄

炊き出し・防災用品の展示・防災クイズ・煙道体験(予定)



昨年の炊き出し



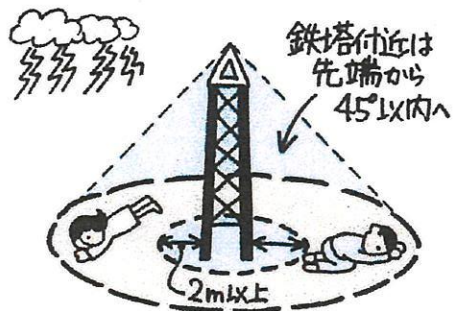
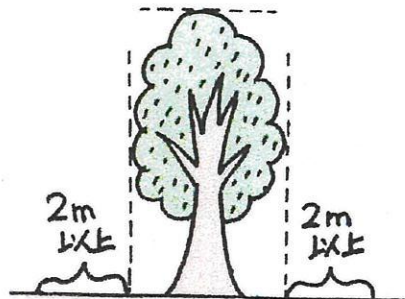


雷は、はげしい上昇気流や下降気流のある積乱雲の中で起こる空中の放電現象です。
被害は7、8月に多くあります。

屋外では



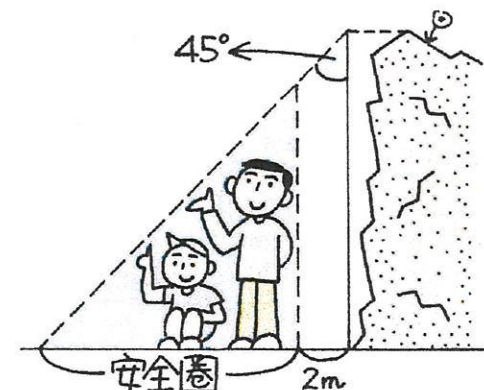
- ・建物や自動車の中にいそいで避難します。
- ・近くに何も無い平地では足以外は地面に付けないような格好でしゃがみます。
- ・ネックレスやヘアピンなどの金属類ははずして遠く離れたところに置きます。
- ・傘、釣りざお、ゴルフクラブなど長いものは頭より高くしません。
- ・大人数のときは、なるべく散らばって低い姿勢で避難します。
- ・身体より高い木やポールには、極端に近づかないでください。2m以上離れ、てっぺんから45度の内側が安全です。



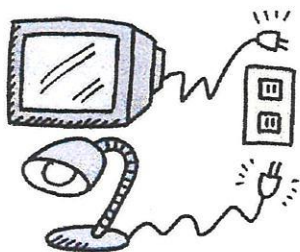
とくに山地では



- ・森の中は一応安全ですが、樹木から離れてしゃがみます。
- ・岩場や山頂、尾根では、へこんだところにしゃがみます。ただし、露岩地帯では、傾斜面の岩かけなどはかえって危険です（岩石の表面を落雷電流が流れます。）。岩の上に腰かけていたほうがよいでしょう。
- ・がけの下では、頂上から45度の内側でがけから2m以上離れた場所に避難します。
- ・水辺も危険地帯です。



屋内では



- ・電灯線、電話線、アンテナ線から1~2m離れます。
- ・テレビ、アイロン、洗濯機などのコンセントを抜いておきます。
- ・避雷針などがない家では、柱や壁に寄りかからず部屋の真ん中にいます。



注意したい精密機器

私たちの生活に、コンピュータは重要で密接な存在となっていますが、このような精密機器も、雷の影響を受けます。例えば、落雷の衝撃がオンライン回線を通してモデムを壊してしまうこともあるのです。使用しないときは、マメに電源を切る習慣を身につけましょう。